

## 北区観光振興プラン（案）に関するパブリックコメント実施結果

意見募集期間：平成26年12月22日（月）～平成27年1月28日（水）

意見提出者数：7名（内訳） 郵送：1名、電子メール（北区ホームページ）：2名、FAX：4名

意見総数：44件

周知方法：北区ニュース（12月20日号）、北区ホームページ、産業振興課、区政資料室、地域振興室、区立図書館

提出された意見の概要とそれに対する区の考え方は以下の通りです。

### 《パブリックコメントによる内容の修正箇所》

NO	意見の概要	件数	修正箇所(区の考え方)		
			修正後	修正前	掲載箇所
1	「都市計画マスタープラン」には観光に関する内容が多く含まれているため、「プランの位置づけ」の図中に位置付けるべきである。	1	「プランの位置づけ」の図中に、「北区都市計画マスタープラン2010」を追加しました。	—	P4 「プランの位置づけ」の図中
2	プロジェクト2の「鐵分増量プロジェクト」の「鐵」という旧字体は、一般人とくに子ども・若者たちは使わないし、読めないのが普通で「鉄」を使用すべきと思う。	1	プロジェクトの名称につきましては、栄養素である「鉄」との違いを明確にするともに、鉄道好きな方の興味を引き、印象に残るものがふさわしいということで、観光振興プラン策定検討会及びワークショップで策定いたしました。なお、誰もが読めるよう以下のとおりふりがなをつけることといたします。 「鐵分増量プロジェクト」	鐵分増量プロジェクト	目次、 P6、P35、 P37、P41、 P43
3	「(仮称)旧王子支線跡地遊歩道」については、「北区基本計画2015(案)」で明記されており、本プランで伏せる理由はない。	1	「鉄道のまち北区プロジェクト」の内容説明として、以下の文章を追加しました。 ※鉄道を北区の観光資源として位置づけ、鉄道事業者などと連携しながら鉄道撮影の初心者や子どもから大人まで楽しめるマップの作成や写真コンテストなどを実施します。また、「(仮称)旧北王子支線跡地遊歩道の整備」に併せた記念モニュメント等の設置を行います。	—	P37 最下段

《提出された意見の概要とそれに対する区の考え方》

第1章 北区観光振興プランの基本的な考え方

NO	意見の概要	件数	区の考え方
4	プランの背景と目的について、農村漁村や過疎地域、地方都市における観光の記載がない。先進事例が数多くある地方の観光動向を押さえておくことも必要である。	1	本プランでは、都市内の風情ある商店街や路地、祭りなど市民の生活・暮らしに触れる、飲食や買い物を楽しむといった「都市型観光」を推進することで、北区観光力の向上に結び付けることとしています。ご指摘のあった地方の観光動向については、今後も引き続き調査、研究してまいります。
5	北区観光の基本戦略と施策の体系図について、基本戦略2、3、4が並列に並んでいるが、基本戦略2「北区の顔をつくる」は基本戦略1「北区観光を有名にする」と同列にするか、一つにまとめていただきたい。	1	体系図は各戦略の位置づけを表現しています。 基本戦略2、3、4は北区観光を推進するためのプログラムづくりとなっております。それらの上位戦略として、基本戦略1を展開することで、基本戦略2、3、4をリードするとともに、基本戦略5〔みんなで育て支える観光〕が、これらを下支えしている戦略であることを表現しています。
6	計画期間について、“前期3ヶ年計画”と“後期3ヶ年計画”の区切りの主旨がわからない。例えば、“先導するプロジェクト”、“基本的方向性”及び“STEP（ステップ）1、2、3”について、どれが、各々に対応するのかわからない。	1	本プラン始動期である前期3年は、STEP1、2をめざして、今後の施策展開の基礎となる取組みと、中核的推進組織（（仮称）北区観光協会）の設立を行います。後期3年は、前期の取組みを基本に、さらに発展的な取組みを展開しながら、北区観光の最終目標となるSTEP3をめざしてまいります。先導プロジェクトは、北区観光の基本的方向性に基づき設定したものであり、STEP1、2、3に応じて、可能なものから段階的に取り組んでまいります。

第2章 北区観光の特徴と進め方

NO	意見の概要	件数	区の考え方
7	「2. 北区における観光とは」の部分について、区内の子どもを対象とした観光まちづくり教育は、観光客をもてなす心づくりに必要な施策である。	1	子どもの頃から観光振興に対する意識を醸成することは、北区に対する誇りと愛着を育み、北区の観光振興を継続的に支えるサポーターづくりにつながります。基本戦略5〔みんなで育て支える観光〕のなかで、地域一体となった受け入れ基盤・態勢の整備を位置づけております。

NO	意見の概要	件数	区の考え方
8	「2. 北区における観光とは」の④「仲間づくりにつなげる観光」について、ファンやサポーターの定義が不明。ファンやサポーターは、「よそ者」を対象とすべきである。	1	ファンやサポーターにつきましては、区の内外を問わずに対象としています。北区観光に関心のある多くの方が参加できる仕組みづくりを検討してまいります。
9	観光振興の進め方、目標を示す3つのSTEP（ステップ）のうち、STEP2からSTEP3は飛躍しすぎではないか。STEP2は、「よそ者」と区民の交流の増加が目標の方が良いのではないか。	1	STEP3「北区の地域活力を高め住む人を増やそう！」は、北区の最重要課題である「子育てファミリー層・若年層の定住化」を踏まえ、北区観光の長期的な目標として設定しました。中間目標であるSTEP2は、地域の観光的魅力の向上による観光交流の促進を図ることであり、来訪者と区民による多様な交流を含んだ目標となっております。

### 第3章 北区観光の基本的方向性

NO	意見の概要	件数	区の考え方
10	基本的方向性③「行動に着目する観光」について、遠来の観光客が北区を訪れるまでの視点が抜けている。遠来の観光客は北区ではなく「東京」あるいは「首都圏」をめざしており、その観光ルート中に、たまたま北区が含まれている、と考えるべき。そのため、「北区」の名前を認知してもらうよりも、赤羽や都電、飛鳥山など区内でも比較的知名度の高い観光地のPRや、近隣の観光地と連携したPRを進めるべきである。	1	北区には、暮らしに結びついた多様な資源、魅力が点在していますが、その魅力が観光資源として十分に認知されていない状況です。そこで、本プランでは、北区を訪れた多くの人に地域の魅力を楽しんでもらうため、区内の多様な資源を物語性をもったテーマでつなぎ、魅力を再編集したプログラムづくりを提供していくこととしています。また、近隣地域や友好都市など北区とゆかりある地域との連携を強化するとともに積極的なPRを行い、より多くの観光客の獲得をめざしてまいります。
11	資源の誘客マーケットの特性を考慮した観光振興について、編集方法例をさらに追加し、それぞれの分野の詳しい人の意見を仰ぐべきである。	1	北区観光の推進にあたっては、テーマやターゲットに応じた地域資源の編集を行い、それぞれの資源の相乗効果が計れるよう工夫してまいります。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
12	「鉄道」と「商店街」の客層は異なっており、連携はうまくいかないことが多い。しかし、商店街を目的とする観光客に移動手段として鉄道を使ってもらい、沿線全体を活性化する方法なら成功事例はある。	1	

第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系 基本戦略1〔発信力のある観光〕北区観光を有名にする

NO	意見の概要	件数	区の考え方
13	WEBによる情報発信やソーシャルメディアの利用、無線インフラ(Wifi)整備と共に、訪日外国人を意識した多言語情報整備が必要である。	1	2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、外国人観光客を含め、多くの観光客が北区を訪れることが期待されます。そのため、観光における快適な環境整備や情報発信、充実した観光プログラムの提供など、多くの観光客に北区を楽しんでもらえるような国際観光の取組みを、区の関連施策、国や都の施策と連携しながら進めてまいります。

第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系 基本戦略2〔メリハリのある観光〕北区観光の顔をつくる

NO	意見の概要	件数	区の考え方
14	戦略2-2「北区観光の拠点をつくる」について、観光拠点は全国的知名度のある赤羽にこそ必要である。	1	中核的推進組織((仮称)北区観光協会)の設立を検討するなかで、北区の観光拠点となる(仮称)観光ステーションの設置場所についても検討してまいります。
15	簡易な観光案内所は、区内に限らず、北区の入口にあたる大宮、さいたま新都心、日暮里、上野、東京等の駅に設けるように努力して頂きたい。	1	ご意見につきましては、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。

第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系 基本戦略3〔誘客力のある観光〕北区観光の魅力を高める

NO	意見の概要	件数	区の考え方
16	戦略3-1「地域資源の発掘」については、ワークショップを公募型で開催して、区民から様々なアイデアをもらって発掘すべき。区民自ら情報発信し編集作業に参加できる仕組みが不可欠。	1	効果的な観光施策の展開には、関係機関・団体・区民等の理解と協力が必要不可欠です。具体的な取組みの際には、ご提案の内容を参考に事業を検討してまいります。
17	戦略3-2 施策②「水辺を楽しむプログラムづくり」について、テーマは水辺に限らず、身近な自然資源を対象とすべきである。	1	北区は季節の変化を楽しめる豊かな自然環境を有しています。身近な自然資源につきましては、施策①「五感や季節の変化を楽しむプログラムづくり」、施策②「暮らしぶりを楽しむプログラムづくり」の中で、積極的な活用方法を検討してまいります。

NO	意見の概要	件数	区の考え方
18	戦略 3-2 施策④「産業遺産を楽しむプログラムづくり」について、産業遺産は、大正から昭和時代の負の歴史にも焦点をあてて観光資源として活用を図るべきである。	1	北区には我が国の産業の近代化を支えた施設が複数存在します。産業遺産につきましても、歴史や技術について楽しみながら学べるプログラムを検討し、その魅力を区内外に広く発信してまいります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

#### 第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系 基本戦略4〔ネットワーク型の観光〕『つなぐ』観光を推進する

NO	意見の概要	件数	区の考え方
19	基本戦略4「つなぐ観光を展開する」について、SNSの活用は考えているのか。	1	北区観光の情報発信力を強化することは大きなテーマと考えています。様々な資源をつなぐネットワーク型の観光の推進に向けて、SNSを活用した効果的なプロモーションについて検討してまいります。
20	戦略4-1 施策②「公共交通を活用した観光の推進」について、他自治体との連携や災害時にも役立つことから、舟運の活用を検討すべきである。まずは、志茂の公共防災船着場を早期に整備し平常時活用を進めてほしい。	1	北区には荒川や隅田川など豊かな水辺が存在します。舟運の活用につきましては、今後、河川管理者等と連携しながら検討してまいります。なお、公共防災船着場の整備につきましては、安全で災害に強いまちづくりに向けた施策を推進するなかで、東京都防災船着場整備計画に基づき、計画的に整備を行っております。
21	戦略4-2「ゆかりのある地域と北区をつなぐ」について、鉄道で直結されている地域との連携は鉄道観光の推進にもつながり有効である。	1	区とゆかりのある地域とのさらなる連携強化を図るなかで、交通網でつながる地域との取組みについても検討を行い、鉄道事業者等と連携しながら効果的な鉄道観光の推進に努めてまいります。

#### 第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系 基本戦略5〔みんなで育て支える観光〕北区の観光力を高める

NO	意見の概要	件数	区の考え方
22	戦略5-1 施策①「国際観光の推進」について、外国人観光客が求める情報を発信するには、区内在住の留学生や区内で活躍する国際交流団体との連携が不可欠である。	1	北区では、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、北区の多彩な魅力や面白さを外国人の目線から発掘・発信することを目的に、「千客万来 外国人向け観光情報発信事業」を実施する予定です。事業実施にあたっては、外国人との意見交換やモニターツアー等を予定しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

NO	意見の概要	件数	区の考え方
23	外国人観光客の誘致に向けて、観光情報アプリ開発、飲食店メニューの多言語表記などを準備していくことが必要である。	1	基本戦略5〔みんなで育て支える観光〕のなかで、誰もが安心して観光を楽しめるような環境づくりを推進していくこととしております。外国語の対応につきましては、「案内サイン標準化指針（東京都版ガイドライン）」を踏まえながら、区の関連施策や、国や都の施策と連携しながら推進してまいります。
24	基本戦略5の〔みんなで育て支える観光〕の文言を〔みんなで支え未来に繋ぐ観光〕もしくは、〔みんなで支え未来を育む観光〕に差し替えではどうか。	1	ご意見として受け止めさせていただきます。
25	戦略5-1 施策②「誰でも楽しめる観光の推進」のためには北区都市計画マスタープランに例示されている「散策のネットワーク」を中心に、歩行空間の整備や、路上禁煙エリアの設定による快適性の確保など、まちづくり・環境分野との連携が必要である。	1	北区の観光力を高めるためには、誰もが安心して観光を楽しめる環境づくりや、地域一体となった受け入れ基盤、態勢を整える必要があります。具体的な取組みの際には、まちづくり分野や環境分野などの関連施策と連携して、誰でも楽しめる観光を推進してまいります。
26	戦略5-3 施策②「北区ファンの獲得」や施策②「観光推進サポーターの導入」には、NPO、市民団体の力を活用する仕組みづくりが必要である。	1	効果的な観光施策の展開には、関係機関・団体・区民等の理解と協力が必要不可欠です。北区観光を効果的・効率的かつ着実に実施していくため、多くの人や団体が参加できる仕組みづくりを検討してまいります。

#### 第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系（全般、その他）

NO	意見の概要	件数	区の考え方
27	“基本戦略1～5”の各々と、“先導プロジェクト1～5”の各々との対応がわかりにくい。	1	北区観光を効果的、効率的かつ着実に実施していくため、「分かりやすさ」「取り組みやすさ」「波及効果」の視点から5つの先導プロジェクトを定めました。プロジェクトはいずれも北区観光の基本戦略・施策と深い関わりをもっており、これらのプロジェクトを推進することで、様々な基本戦略・施策の実現に結びつけることを意図して設定しております。

NO	意見の概要	件数	区の考え方
28	基本戦略と施策の体系において、現組織および将来設立する組織も含めて、誰（どの組織）が推進するのか明示されていない。	1	北区観光の取組みを着実に推進・展開していくためには、その担い手となりうる区民・区内事業者、行政が相互に連携・協力することが必要不可欠です。今後、中核的推進組織（（仮称）北区観光協会）の設立を検討するなかで、現行の区の観光関連事業等を整理するとともに、観光に携わる各主体の適切な役割分担を行い、本プランを効果的、効率的に推進してまいります。
29	基本戦略を推進することで、広報課が推進するシティプロモーションやイメージ戦略、観光ホームページなどはどうなるのか。	1	
30	基本戦略3「北区の魅力を高める」について、推進するのは誰か。	1	
31	基本戦略を推進する中で、北区観光ボランティアガイドの会の活動の整合性はどのように取り扱うのか。	1	「北区観光ボランティアガイドの会」の活動は、区民の地域に対する愛着と誇りを醸成し、観光を切り口とした魅力ある地域づくりに向けた大きな原動力となっています。本プランでは、基本戦略5-2 施策①「北区観光ボランティアガイドの充実」を位置づけ、今後の北区観光の担い手として、さらなる活躍を期待しています。

## 第5章 北区を先導するプロジェクト

NO	意見の概要	件数	区の考え方
32	先導プロジェクトとして他よりも先行させるならば、先導プロジェクト1～4の具体的な場所を明示すべきである。	1	本プランは、これからの北区の観光振興を、区民・事業者・行政が一体となって推進していくための取組みの方向性、考え方を示したものであり、具体的な事業の行動計画を示したアクションプランとは異なります。先導プロジェクトを具体的に展開する際は、観光に携わる各主体の適切な役割分担を行い、プロジェクトの内容や地域（場所）の特性に応じた効果的な取組みを進めてまいります。
33	プロジェクト1、2の名称は、内容が誰でもわかる平易な言葉に変更すべき。PR用の言葉を使う必要はない。	1	プロジェクトの名称につきましては、印象に残るものが望ましいということで、観光振興プラン策定検討会及びワークショップで策定いたしました。
34	プロジェクト1「暮らしっくツアー」について、事業者のみならず区民も参加ができて、参加者同士の交流が活性化されるような交流体験イベントを開発することが有効である。	1	プロジェクトを具体的に展開する際には、ご提案の内容を参考に、区民を含む参加者同士の交流が活性化される事業を検討してまいります。

NO	意見の概要	件数	区の考え方
35	プロジェクト1について、商店街と連携した取組みの実施については、店主のもつ商品知識や設備などを有効活用しながら、商店街利用者も主体的に参加できるイベントを開催する必要がある。	1	いただいたご提案は、今後の参考とさせていただきます。なお、商店街振興施策として、店主自身が講師となり、地域の消費者に対し専門的な知識や情報を伝えるゼミナールを実施してまいります。
36	プロジェクト1について、マニアックな暮らしの観光資源化については、銭湯が有する空間を観光資源としてとらえ文化的空間として有効に活用することが望まれる。	1	銭湯につきましては、暮らしに根付いた観光資源のひとつとして効果的な活用方法について検討してまいります。
37	プロジェクト2について、鉄道観光は全国各地に先進事例があり、先進地との交流やイベント開催等を進め、鉄道観光のノウハウを学ぶ必要がある。	1	プロジェクトを具体的に展開する際には、鉄道事業者をはじめ各種関係団体等との連携を強化するとともに、先進事例等を参考としながら、効果的な鉄道観光の推進に努めてまいります。
38	プロジェクト2について、「北区基本計画2015(案)」に記載されている(仮称)旧北王子支線跡地遊歩道については、舗装せずにレールと枕木を残し、トロッコ等も走行できる空間として活用していただきたい。	1	「(仮称)旧北王子支線跡地遊歩道の整備」にあたっては、鉄道の面影を残した遊歩道として設計等の検討を進めてまいります。なお、その整備にあわせて「鉄道のまち北区プロジェクト」のなかで記念モニュメント等の設置による観光情報発信を行います。
39	プロジェクト3「駅から観光プロジェクト」について、駅ごだけでなく、鉄道沿線全体をスタンプラリーやイベントの同日開催などで巡ってもらい、沿線単位で活性化を図る取組みにしていくなが必要がある。	1	戦略4-2において北区とゆかりのある地域とのさらなる連携強化を図ることとしております。交通網などでつながる地域との取組みについても、鉄道事業者等と連携しながら検討してまいります。

## 第6章 北区観光の推進・展開に向けて

NO	意見の概要	件数	区の考え方
40	「(仮称)観光協会の設立を検討する」と記載されているが、NPO・市民団体との連携のコーディネートのためにも観光協会のような組織は必要である。	1	中核的推進組織((仮称)北区観光協会)の設立に向けた準備・検討を進めるなかで、北区観光を効果的に推進することのできる組織組成のための調査、研究を行ってまいります。
41	北区において、地域観光プラットフォーム:DMO(Destination Marketing/Management Organization)をベースとした観光イノベーションを巻き起こすために、官民一体型でのプラットフォームの整備が必要である。	1	観光振興は、地域経済の活性化とともに区民の地域に対する愛着や誇りの醸成など多様な面での効果が期待されています。一方、推進にあたっては、区民・事業者・行政が互いに理解と認識を図りながら連携・協力しつつ進めていくことが必要です。ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。

その他

NO	意見の概要	件数	区の考え方
42	様々な交流を生み出す場を確保するため、道路・公園・河川敷などの公共施設を開放して有効に活用することが重要である。	1	ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。
43	観光客に消費を促すには、滞在時間を長くする工夫も必要である。例えば、他区のように「旧町名」の紹介掲示板等を設置して、掲示板散策にかかる時間を増やすとか、『世田谷まちなか観光アプリ「世田谷ぷらっと」』のような、散策支援アプリを提供することも考えられる。	1	ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。
44	シニア世代（高齢者）を観光振興の大きな原動力とすることが必要である。	1	観光振興の推進にあたっては、区民や事業者との連携、協力が不可欠であり、特にシニア世代は観光振興の有力な担い手と考えております。シニア世代の新たな生きがいつくり・社会への貢献機会の創出にもつながるような観光振興の取組みについても検討してまいります。